

学生・高校生の  
図書館サポーター  
＜ボランティア＞  
活動を紹介  
するよ～

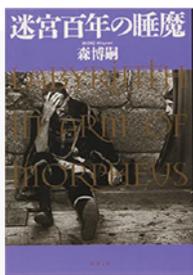
# 図書館 で ボランティア



「図書館が好き」「本が好き」そんな学生が集まって、学生目線で図書館の  
利活用を促す活動をするのが“図書館サポーター＜ボランティア＞”です。

## 活動①読書推進 おすすめ本の紹介

森博嗣『迷宮百年の睡魔  
labyrinth in arm of morpheus』  
(新潮文庫刊)  
3階開架室 080/Shi/も 23-3



藤田宜永『奇妙な果実殺人事件』  
(新潮文庫刊)  
3階開架室 080/Shi/ふ 18-1



こちらは、百年シリーズと呼ばれる三作品のうち二作目になります。一作目の『女王の百年密室』は、図書館3階階段横の展示で紹介しています。私はぜひ一作目から読んで欲しいですが、森先生はどこから読んで構わないと仰っているので、本作から読んで十分に楽しめると思います。

本の内容を一言でいえば、どこかSFチックなミステリーです。前作に引き続き、ミチルとロイディという二人の登場人物を中心に物語は展開していきます。彼らの掛け合いは軽妙かつ理知的で、非常に読みやすい作品となっています。また、彼らの会話文に限らず文章全体から洗練された雰囲気を感じ取れます。ミステリーといえば、醜い人間関係や破滅的な動機を描くことが多いですが、この作品からはそういったものを一切感じません。ミチルとロイディは周囲の森が一夜にして海と化したという伝説をもつ島を訪ね、美しい女王と対面します。そこで、首のない死体が発見されミチルは犯人なのではないかと疑われてしまいます。無実を証明すべく犯人を捜し回るミチル。そのとき、彼は気が付きました。あったはずの海が消えている、そしてなかったはずの砂漠が出現していると。文章から登場人物まで、すべてが魅力的な作品ですが、一番の魅力は作品の随所に散りばめられた概念的考察です。「自分はどうして生きているのか」「世界とは一体何なのか」、そういった哲学のような問いをまるで数学の命題を解くかのように考えます。知性の奥底で眠っている答えのない問いを、筆者は私たちに語り掛けてきます。頭の中を綺麗にして、純粋な気持ちでこの本を読んでください。それがきっと『迷宮百年の睡魔』を楽しむ近道になるはずです。

(日本語日本文学科1年 S・Mさん)

タイトルを見てミステリーであることは察しが付きますが、その内容は全く分かりません。本書の後書きにもある通り、「〇〇殺人事件」の〇〇に入る言葉は地名であることがほとんどです。しかし、本書では地名とは到底思えない「奇妙な果実」という言葉が用いられています。私はこの珍しいタイトルに惹かれて、思わず本書を手にとってしまいました。実際に読んでみるとタイトルに負けず劣らず、妖しい雰囲気が漂う奇異な物語が展開していきます。

植物学者、由里正平の還暦を祝うパーティーが彼の住まう邸宅で開催されていました。その邸宅は上空から眺めると、まるで六枚の花びらが広がっているように見える非常に奇妙な館でした。パーティーでは、正平の末娘が『奇妙な果実』という歌を披露します。そのパーティーの直後、次女の菊江が殺されているのが発見されました。彼女の死体に被せられたものは誰も見たことがない巨大なパイパイ。続いて起こる第二、第三の殺人。事件の謎に、黒磯準一郎という男が挑みますが、彼は飄々としており得体の知れない人物でした。連続密室殺人、国際線利用のアリバイ崩し、莫大な遺産を巡る相続争い、奇妙な形の邸宅、怪しげな伝説、風変わりな素人探偵。いわゆる本格派とされる推理小説の条件が溢れんばかりに詰め込まれており、最後の一ページまで飽きることなく読み進めることが出来るでしょう。

図書館3階階段  
横の棚で展示も  
やっています♪

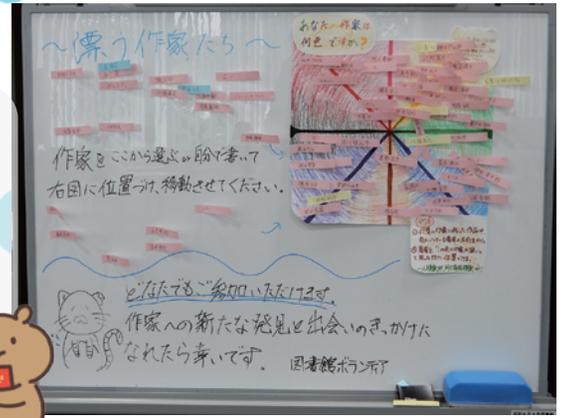


活動② 読書推進  
作家の発掘

こちらは、作家を色分けしてみようというちょっと変わった企画です。  
参加の仕方はとっても簡単で、色彩図に作家名を書いた付箋を貼り付けるだけ！→  
作品の印象や作家のイメージ、その時の気分でイメージする色は変わりますが、細  
かいことは気にせず直感でご参加ください♪  
イメージカラーから「読んでみようかな」と思える作家に出会えるかもしれません。

(日本語日本文学科 1年 A.H さん)

色彩図

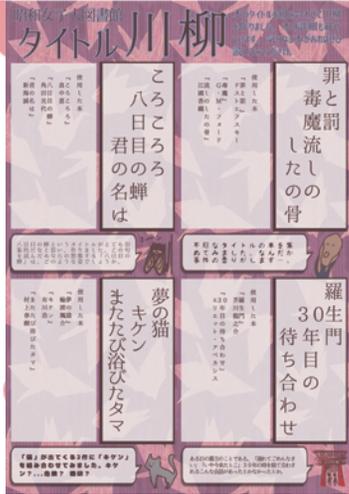


あの作家は  
何色かな？



3階フリーラーニングスクエアにあります！

活動③ 図書館利活用  
秋桜祭企画・運営



図書館では、毎年11月に開催される秋桜祭に有志で参加しています。  
工夫を凝らした企画を考え、図書館を通じて昭和女子大学の良さや、  
本の魅力を伝えていきます。

←昨年実施した「タイトル川柳」は本のタイトルのみで川柳を作り、  
「この本はどんな内容なんだろう？」と思わせる企画で、来場者のみ  
ならずスタッフ・職員の間でも好評でした★

2022年度は手作りブックカバーの展示や、消しゴムはんこのワーク  
ショップなどを企画していますので、みなさんどうぞお楽しみに♪

(現代教養学科 2年 S.K さん)  
(環境デザイン学科 1年 T.S さん)

「タイトル川柳」はこちらか  
らご覧いただけます！

<https://drive.google.com/file/d/1aep1BrUnH3Cd1bZi1AiZkvXDa5NILI2R/view>



活動④  
その他色々進行中

他にも、図書館の施設・設備、資料の活用を促すための活動を企画中です。  
図書館ブログ (<https://content.swu.ac.jp/library-blog/>) でも紹介していますので、ぜひぜひチェックをお願いします！



←読書ラリーのスタンプカード用です。写真では黒イン  
クでスタンプしていますが、綺麗な色のインクを  
使ってもいいかなと思案中。

\*読書ラリーとは・・・読んだ本の感想をポップに書いて図  
書館に提出する読書推進企画。ポップ1枚ごとにスタンプを  
1個差し上げます。20個たまると図書カードをプレゼント！

図書館サポーター<ボランティア>の  
お申し込みはこちらのフォームから！  
<https://forms.gle/r5zRu9t65JK34Dug7>

\*高校生の方は中高部図書室にご相談  
ください。



←図書館3階階段横のおすすめ本コーナー。手書きの  
ポップは絵を描いたり、吹き出しのように切り抜いた  
りと工夫を凝らしています。  
高校生ボランティアのみなさんは、中学生～大学生ま  
で、参加しやすい企画を立案中です。



Fiat Lux Plus No.12

2022年7月22日発行

編集発行：昭和女子大学図書館

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57

TEL : 03-3411-5128 MAIL : libinfo@swu.ac.jp

ご意見・ご感想  
はごちらまで★

